

平成 16 年 7 月 10 日 (土)

現地説明会資料

神戸市教育委員会・(財)神戸市体育協会

兵庫松本遺跡の発掘調査

— 松本地区区画整理事業地区の発掘調査 —

ひょうごまつもといせき
兵庫松本遺跡は、兵庫区松本通二丁目を中心に広がる遺跡です。この遺跡は、震災後に発見され、区画整理事業や住宅の建設に先立って、これまでに 20 回の発掘調査を行っています。その結果、縄文時代晩期(約 2400 年前)から現在に至る長い期間にわたり、人々が生活していた痕(遺構)が見つかっています。

この遺跡の特徴は、弥生時代の終わりから古墳時代の初めごろ(約 1700 年前)の遺構や、当時使われていた土器などの遺物が多く見つかっていることです。今回の調査成果を合わせると、20 棟を超える竪穴住居(家)や掘立柱建物などが発見されました。



発掘調査は、区画整理の道路建設部分と遺跡に影響のある住宅建築部分について行っています。

7年にわたった区画整理に伴う発掘調査は、今回の調査で完了します。

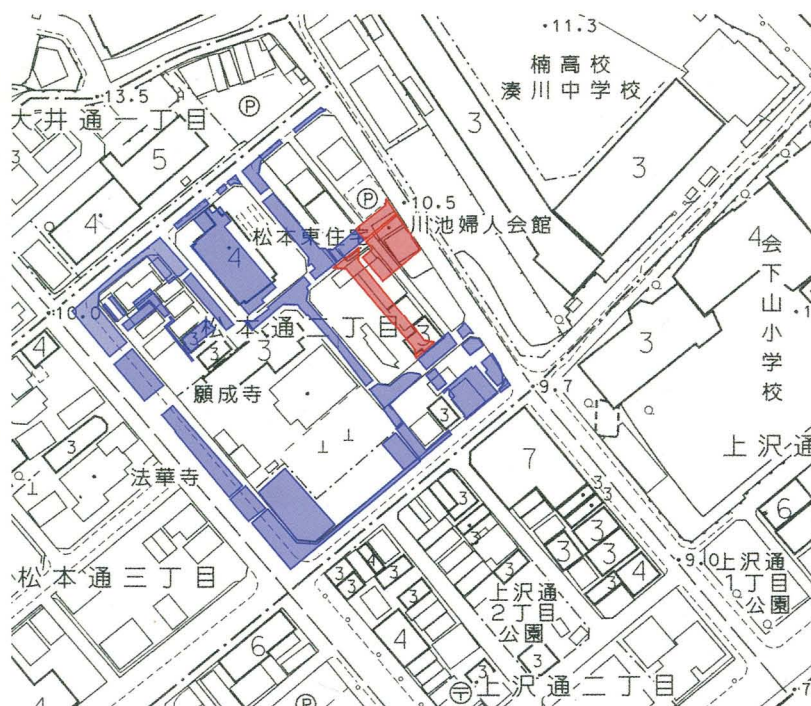


図1 調査地位置図

平成10年度～15年度の調査地

今回の調査地

今回ご覧いただくのは、古墳時代初めごろの集落(ムラ)の中心部と考えられる場所で、多くの遺構や遺物が確認できました。なかでも、四角形または円形に地面を掘りくぼめて造った竪穴住居が10棟以上見つかり、集落が大きく発展したことがわかります。何度か建て替えが行われたようで、古い家をつぶして新しい家を建てているものや、改築して広げているものがあります。



写真1 調査風景



写真2・3 南北道路部分の調査区

すでに埋め戻した南北道路部分の南半部で見つかった竪穴住居(右)と土器の出土状況(左)

住居内には、当時の人々が使っていた土器などの遺物が多く残されており、当時の集落の出来事を復元する上でのヒントとなります。たとえば、焼けた木材が多く見つかった住居は、火事で燃えてしまったことがわかります。多くの土器の破片が、積み重なるように見つかった住居は、人が住まなくなった後は、ゴミ捨て場になったと考えることができます。また、住居内に粒子の粗い砂が溜まっている例が多く、旧湊川の洪水の被害を受けたあと、短期間のうちに住居の建て替えが行われ、すぐに集落を復興していると考えられます。



写真4 火事にあつた竪穴住居(手前)

古墳時代前期(約1600年前)になると、遺構や遺物の量は減少します。今回の調査では、当時の竪穴住居が1棟見つかりました。この住居は、一段高い床(ベッド状遺構)を南側以外の三方に巡ら^{めぐ}しています。住居の入り口は南側だったのかもしれませんが。住居内からは、土器のほかに、鉄製の矢じり^{てつそく}(鉄鏃)、糸をつむぐ時に使う円板(石製紡錘車^{せきせいぼうすいしや})、直径約3mmのガラス製の小玉が見つかりました。



写真5 古墳時代の竪穴住居

竪穴住居が数棟重なり合っ^あって見つ^みつ^つか^かつ^つて^てい^いる。正面の住居が最も新しい古墳時代前期(布留期)で、建替^たえ^えで^で拡^く張^{ちやう}して^いる。他は古墳時代初め(庄内期)の住居で、左上の住居は木材が焼けた炭が多く出土し、火災にあつた^あつ^つた^たと^と考^くえ^えら^られ^れる。

以上のように、これまで行^いつ^つて^てき^きた^た発^は掘^{くわ}調^{てう}査^さによ^よつ^つて^て、古^こ代^{だい}か^から^ら現^{げん}在^{ざい}に^に至^{いた}る^る松^ま本^{もと}地^ち区^くの^{よう}す^すが^あら^らか^かに^にな^なつ^つて^てき^きま^まつ^つた^た。弥^や生^{せい}時^じ代^{だい}か^から^ら古^こ墳^{ふん}時^じ代^{だい}へ^へ移^{うつ}り^り変^{へん}わ^わる^る時^じ期^きに^に、当^{たう}地^ち区^くが^あら^らか^かに^に開^あき^きら^られ^れ、集^{しゆ}落^{らく}が^あら^らか^かに^に大^{おほ}き^きく^く発^は展^{てん}し^した^たこ^こと^とや^や、古^こ墳^{ふん}時^じ代^{だい}以^い降^{かう}は^は、主^{しゆ}に^に耕^{かう}作^{さく}地^ちと^として^{して}利^り用^{よう}さ^され^れて^てい^いた^たこ^こと^とが^がわ^わか^かり^りま^まし^した^た。し^しか^かし^し、自^じ然^{ぜん}環^{かん}境^{けい}は^は安^あ定^{てい}し^して^てい^いた^たわ^わけ^けで^でな^なく^く、土^{つち}層^{そう}を^を観^{くわん}察^{さく}す^すると^と、何^{なん}度^ども^も洪^{こう}水^{すい}の^の被^ひ害^{がい}に^にあ^あつ^つて^てい^いる^るこ^こと^とが^がわ^わか^かり^りま^ます^す。そ^その^のた^たび^びに^に人^{ひと}々^々は^は被^ひ害^{がい}を^を乗^{のり}り^り越^こえ^え、土^{つち}地^ちを^を復^{ふく}興^{こう}し^し、現^{げん}在^{ざい}の^の松^ま本^{もと}地^ち区^くの^{けい}観^{かん}を^を私^した^たち^ちに^に残^{のこ}し^てく^れま^まし^した^た。「山^{やま}・川^{がわ}・海^{うみ}」に^に囲^{かこ}ま^まれた^たこ^この^の地^ちに^に対^{たい}す^る人^{ひと}々^々の^の愛^{あい}着^{ちやく}を^を示^しし^てい^いる^るの^のか^かも^もし^しれ^れま^ませ^せん。



竪穴住居
 掘立柱建物
 自然流路（川）

図2 古墳時代の主な遺構 調査地全体図

神戸市埋蔵文化財センター

神戸市埋蔵文化財センターでは、市内の発掘調査で出土した土器や石器などを、調査、整理、収蔵しています。遺跡から出た土器や石器などを身近にして、むかしの神戸の人々の生活や歴史を体感できる施設です。考古学講座や企画展示も定期的を開催しています。



あなたも、是非、いにしへの神戸の人々と、じかにふれ合うことのできる

埋蔵文化財センター にお越しください。

地下鉄西神中央駅下車南へ徒歩5分 入館無料 月曜休館 Tel.078-992-0656